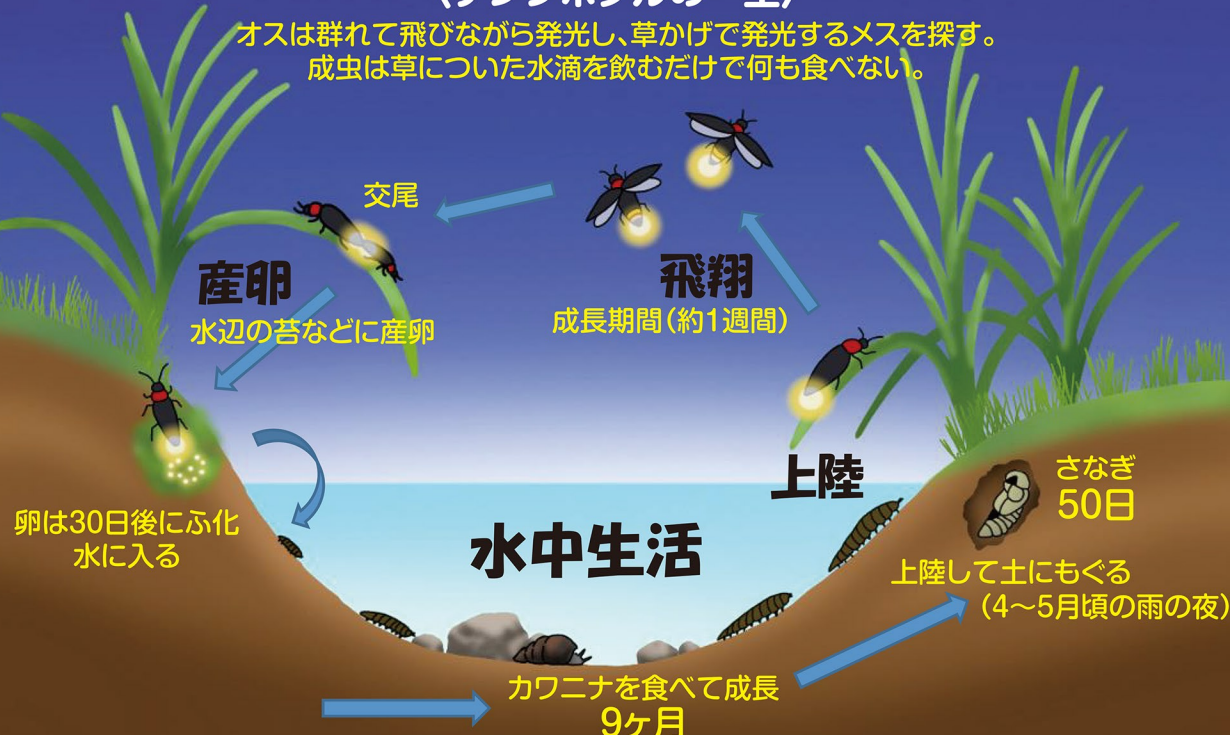


ホタルの生態を学んでみよう

〈ゲンジボタルの一生〉

オスは群れて飛びながら発光し、草かげで発光するメスを探す。
成虫は草についた水滴を飲むだけで何も食べない。



6月 → 7月 → 4月 → 5月

産卵 6月中旬から7月にかけて、水辺の苔に産みつけられます。

〈水中生活〉幼虫期 産卵後約1ヵ月で生まれます。夜明け頃に水中に入り、約265日間の水中生活で6回脱皮します。体長2～3cm位。

〈上陸〉さなぎ 気温と土の温度が同じ(約14℃)になる頃の雨の夜、陸に上がり土の中でさなぎになります。

成虫 約1ヵ月間でさなぎから羽化し、成虫となって土から出ます。光る期間は約1週間と短いです。

飛翔

①ホタルは初夏の水辺が大好き

1年で最も多く見ることが出来る時期は、5月中旬から7月20日頃。

★ホタルは日没から1～2時間が一番元気
ホタルが最も元気に活動するのは、日没後約1～2時間にかけて。およそ午後7:30～9:00頃が発光するホタルの姿を確認できる時間です。

②ホタルの出現は天候に左右される

ホタルが最も好むのは、風がなく、蒸し暑い夜。今にも雨が降り出しそうな天候時が、一番活動的になります。

※気が減ってしまいそうな蒸し暑い夜も、ホタル探しには絶好のチャンスです

ホタル観賞をする時のお願い(注意事項)

- 夜間ですから危険回避のため、女性1人・子どもだけでの外出は控え、複数人または保護者と一緒に観賞してください
- 観賞の際は、強い光を放つ懐中電灯を避けて小さな懐中電灯を持参したり、人に懐中電灯の光を当てないなど周囲に気を配るよう心掛けてください
- 大きな音や声を出すことなどは近隣の住民の方の迷惑になります。静かに観賞しましょう。



ゲンジボタル

体長/約15mm
胸の模様/背の十文字
飛び方/曲線的
君津市街地の見頃
5月中旬～6月10日頃



ヘイケボタル

体長/10mm
胸の模様/背に縦一文字
飛び方/直線的
君津市街地の見頃
6月中旬～7月20日頃

◀三舟の里のゲンジボタル(令和元年5月25日撮影)

メスの特徴

発光器が1つで、葉っぱの上にとまってオスの発光にこたえて光ります。

基本的にメスの方がオスより大きいです。



オスの特徴

発光器が2つあり、メスよりは発光器が大きい。水辺を飛び回っているのはほとんどがオス。オスは飛びながら光る。

令和元年度
三舟の里を楽しむ
教室

「ゲンジボタル
舞う三舟の里を
訪ねて」
〈資料より抜粋〉

出典 自然なぜなに? DVD図鑑4 光の芸術家ホタル
株式会社アスク/日高 敏隆(著)